



# 安全データシート

発行日 28-5-2015

改訂日 21-1-2026

版数 8

## セクション1: 製品および会社情報

### 製品特定名

製品名

製品コード

Zirconium Sponge (distilled)  
SAC002

### その他の識別手段

UN/ID番号

別名

3089  
全ての品質等級のジルコニウムスポンジ(精製物)、クロール法ジルコニウム金属(製品番号302), 含むがこれらに限定されません アイテム番号: 1000087, 1000087NR, 1000344, 1017035, 1017059, 1017215, 1017218

登録番号

。

### 化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

合金製品の製造

推奨されない用途

### 安全データシートの供給者の詳細

製造者

ATI Specialty Alloys & Components, 1600 Old Salem Rd NE, Albany, OR 97321 USA ATI SDS マネージャー: +1-412-225-4911

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号

Chemtrec +1 703-741-5970

## セクション2: 危険有害性の要約

### 化学物質又は混合物の区別

可燃性固体

区分 1

### ラベル要素

#### 非常事態の概要

注意喚起語

危険

危険有害性情報

可燃性固体



外観 スポンジ

物理的状态 固体

臭い 無臭

**注意書き－安全対策**

- ・保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること
- ・熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙
- ・容器を接地すること/アースをとること
- ・塵雲が発生する可能性がある場合には、防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/機器を使用すること

**注意書き－応急措置**

- ・火災の場合：消火には塩(NaCl)またはクラスD乾燥粉末を使用します

**注意書き－保管**

・。

**注意書き－廃棄**

・。

**その他の情報**

他に分類できない危険有害性(HNOC)

- ・該当しない

**セクション3： 組成及び成分情報**

**別名** 全ての品質等級のジルコニウムスポンジ(精製物)、クロール法ジルコニウム金属(製品番号 302), 含むがこれらに限定されません アイテム番号: 1000087, 1000087NR, 1000344, 1017035, 1017059, 1017215, 1017218

化学物質名	重量%	化審法	安衛法番号	CAS番号
ジルコニウム 7440-67-7	>99	-	-	7440-67-7

化学物質名	毒物及び劇物取締法	
ジルコニウム 7440-67-7	-	
化学物質名	クラス 1	クラス 2
ジルコニウム 7440-67-7	-	-

**セクション4： 応急措置**

吸入	加工中に過剰量の煙、フュームまたは微粒子を吸入した場合には、空気の新鮮な場所に移し、資格を持つ保健の専門家に助言を求めること。
皮膚に付着した場合	通常の使用条件下ではない。
眼接触	加工中に粒子が眼に接触した場合には、あらゆる異物と同様に処置すること。
経口	飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
症状	何も予想されない。
吸入	分類されていない製品。
皮膚に付着した場合	分類されていない製品。
眼接触	分類されていない製品。
経口	分類されていない製品。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じて治療すること。

**セクション5： 火災時の措置**

引火性特性	引火性.
爆発性	該当しない.
適切な消火剤	大きな火災を隔離し、燃え尽きさせる。塩分(NaCl)またはクラスD乾燥粉末消火器.
使ってはならない消火剤	爆発が生じるおそれがあるので、燃えている金属に水を噴霧してはならない。この爆発性の特性は、水素と、水が燃えている金属と反応して生じる蒸気とによって引き起こされる。
特有の危険有害性	強度の熱. この製品の加工に起因する非常に微細で表面積の大きい材料室温で自然発火するおそれがある。警告: この製品の微粒子は可燃性の粉塵です。空気混合物を形成するおそれがある。熱、火花および裸火を含む全ての着火源から粒子を遠ざけること。可燃性粉塵による危険有害性を最小限にするために粉塵の蓄積を避けること。
危険有害性燃焼生成物	該当しない.
消火を行う者のための特別な保護具	消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。

## セクション6: 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	指定された個人保護具を使用すること。
緊急対応を行う者のための保護具	指定された個人保護具を使用すること。緊急対応ガイドブック、ガイド番号170に従ってください。
環境に対する注意事項	環境への放出を防止するため流出したものを収集。
封じ込め方法	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。
浄化方法	火花を発生させない工具を使用して、材料を乾いた容器に一掃する。制御されていないほりを作成しないようにしてください。

## セクション7: 取扱い及び保管上の注意

取り扱い 安全取扱注意事項	この製品の加工に起因する非常に微細で表面積の大きい材料室温で自然発火するおそれがある。警告: この製品の微粒子は可燃性の粉塵です。空気混合物を形成するおそれがある。熱、火花および裸火を含む全ての着火源から粒子を遠ざけること。可燃性粉塵による危険有害性を最小限にするために粉塵の蓄積を避けること。
保管 安全な保管条件	熱、火花、炎及び他の着火源(例えば、点火バーナー、電気モーター及び静電気)から遠ざけること。長期保管の場合は、アルゴンを充填したスチール製ドラム缶に密閉して保管してください。
混触危険物質	フッ化水素酸に溶解する。フッ素の存在下で着火する。200°Cを超えて加熱された場合には、以下と発熱的に反応する。塩素、臭素、ハロゲン化炭素、四塩化炭素、四フッ化炭素およびフレオン。.

## 項目8: ばく露防止及び保護措置

### 許容濃度

化学物質名	日本	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度	ACGIH TLV
ジルコニウム 7440-67-7	-	-	STEL: 10 mg/m <sup>3</sup> STEL: 10 mg/m <sup>3</sup> Zr

			TWA: 5 mg/m <sup>3</sup> TWA: 5 mg/m <sup>3</sup> Zr
--	--	--	---

#### 導出無毒性量(DNEL) 技術的対策

制御されていない粒子の生成を避ける。

#### 個人用保護具 呼吸用保護具

粒子/フューム/ガスが発生する場合、暴露限界値を超えるか刺激が生じるときには承認を受けた適切な呼吸用保護具を着用しなければならない。空中浮揚汚染物質の濃度が高い場合には、陽圧送気式呼吸用保護具が必要になる場合がある。呼吸器の保護は、現行の現地規則に従って提供されなければならない。

#### 眼／顔の保護具

空中浮揚粒子が存在するおそれがある場合には、適切な眼保護具が推奨される。例えば、顔面に密着するゴーグル、発泡体で縁取りした安全眼鏡または眼を粒子から保護するその他の保護具。

#### 皮膚及び身体の保護具

熱い作業中には、火災/難燃性/難燃性の衣類が適切な場合があります。鋭利な表面が存在する場合には、耐切創手袋および/または保護衣が適切な場合がある。

#### 一般的な衛生注意事項

産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。

### セクション9: 物理的及び化学的性質

物理的状態	固体		
外観	スポンジ	臭い	無臭
色	メタリック 灰色 又は 銀色	臭いのしきい値	該当しない
特性	値	備考・方法	
pH	-	該当しない	
融点 / 凝固点	1850 °C / 3360 °F		
沸点 / 沸点範囲	-		
引火点	-		
蒸発速度	-	該当しない	
燃焼性(固体、気体)	-	引火性	
空気中での可燃限界			
燃焼上限:	-		
可燃性下限:	-		
蒸気圧	-	該当しない	
蒸気密度	-	該当しない	
比重	6.49		
水への溶解度	不溶		
溶解度	-		
分配係数	-	該当しない	
自然発火温度	-	該当しない	
分解温度	-	該当しない	
動粘性率	-	該当しない	
動的粘度	-	該当しない	
爆発性	該当しない		
酸化特性	該当しない		
軟化点	-		
分子量	-		
VOC含有率 (%)	該当しない		
密度	-		
かさ密度	-		

### セクション10: 安定性及び反応性

#### 安定性及び反応性 該当しない

安定性	通常の条件下で安定。
爆発データ 機械的衝撃に対する感度 静電放電に対する感度	なし。 熱、火花、炎で引火するおそれ。
危険有害性反応の可能性	通常のプロセスではない
危険有害性な重合	危険有害性の重合は発生しない
避けるべき条件	粉じん形成および粉じんの蓄積
混触危険物質	フッ化水素酸に溶解する。フッ素の存在下で着火する。200°C を超えて加熱された場合には、以下と発熱的に反応する。塩素、臭素、ハロゲン化炭素、四塩化炭素、四フッ化炭素およびフレオン。。
危険有害性分解生成物	該当しない

## セクション11: 有害性情報

### 可能性のある暴露経路に関する情報

#### 製品情報

吸入	分類されていない製品。
眼接触	分類されていない製品。
皮膚に付着した場合	分類されていない製品。
経口	分類されていない製品。

化学物質名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
ジルコニウム 7440-67-7	> 5000 mg/kg bw	-	>4.3 mg/L

### 有害性情報

症状	知見なし。
----	-------

#### 急性毒性

##### 毒性の数値尺度 - 製品情報

##### 毒性の数値尺度 - 成分情報

化学物質名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
ジルコニウム	> 5000 mg/kg bw	-	>4.3 mg/L

### 短期的及び長期的ばく露による直後の影響と遅発性の影響及び慢性的影響

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	分類されていない製品。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	分類されていない製品。
感作性	分類されていない製品。

生殖細胞変異原性 分類されていない製品.

発がん性 分類されていない製品.

化学物質名	日本	IARC
ジルコニウム 7440-67-7		-

生殖毒性 分類されていない製品.

特定標的臓器毒性 - 単回ばく露 分類されていない製品.

特定標的臓器毒性 - 反復ばく露 分類されていない製品.

標的臓器影響 . .

吸引性呼吸器有害性 分類されていない製品.

## セクション12: 環境影響情報

### 生態毒性

出荷時のままの状態のこの製品は、水生毒性に分類されない

化学物質名	藻類／水生植物	魚類	微生物に対する毒性	甲殻類
ジルコニウム	The 14 d NOEC of zirconium dichloride oxide to <i>Chlorella vulgaris</i> was greater than 102.5 mg of Zr/L.	The 96 h LL50 of zirconium to <i>Danio rerio</i> was greater than 74.03 mg/L.	-	The 48 h EC50 of zirconium dioxide to <i>Daphnia magna</i> was greater than 74.03 mg of Zr/L.

残留性・分解性 . .

生体蓄積性 . .

移動性 . .

### 他の有害影響

化学物質名	EU - 内分泌かく乱物質候補リスト	EU - 内分泌かく乱物質 - 評価済み物質	内分泌かく乱の可能性
ジルコニウム	-	-	-

## セクション13: 廃棄上の注意

残余廃棄物 廃棄は、適用される地方、国、地域の法律及び規制に従って行わなければならない。

汚染容器及び包装 廃棄は、適用される地方、国、地域の法律及び規制に従って行わなければならない。

## セクション14: 輸送上の注意

UN番号 3089  
 容器等級 II  
 正式輸送品目名 金属粉末(可燃性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)(ジルコニアスポンジ)  
 危険有害性クラス 4.1  
 特別条項 IB8, IP2, IP4, T3, TP33

**IMDG**

正式輸送品目名 金属粉末(可燃性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)(ジルコニアスポンジ)  
 危険有害性クラス 4.1  
 UN/ID番号 3089  
 容器等級 II  
 特別条項 IB8, IP2, IP4, T3, TP33

**ICAO(空気)**

UN/ID番号 3089  
 正式輸送品目名 金属粉末(可燃性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)(ジルコニアスポンジ)  
 危険有害性クラス 4.1  
 容器等級 II  
 特別条項 IB8, IP2, IP4, T3, TP33

**ADR**

UN/ID番号 3089  
 正式輸送品目名 金属粉末(可燃性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)(ジルコニアスポンジ)  
 危険有害性クラス 4.1  
 容器等級 II  
 ERGコード 170  
 特別条項 IB8, IP2, IP4, T3, TP33

**IATA**

UN/ID番号 3089  
 正式輸送品目名 金属粉末(可燃性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)(ジルコニアスポンジ)  
 危険有害性クラス 4.1  
 容器等級 II  
 特別条項 IB8, IP2, IP4, T3, TP33

日本

UN番号 3089  
 正式輸送品目名 金属粉末(可燃性のもの)(他に品名が明示されているものを除く。)(ジルコニアスポンジ)  
 危険有害性クラス 4.1  
 容器等級 II  
 特別条項 IB8, IP2, IP4, T3, TP33

**セクション15: 適用法令****国際インベントリー**

DSL/NDSL 適合する  
 EINECS/ELINCS 適合する  
 化審法 適合する  
 IECSC 適合する  
 KECL 適合する  
 PICCS 適合する  
 AICS 適合する

**凡例:**

TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー  
 DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト  
 EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー/欧州新規届出商業用化学物質リスト  
 ENCS - 化審法既存物質  
 IECSC - 中国現有化学物質名録  
 KECL - 韓国既存化学物質目録  
 PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー  
 AICS - オーストラリア化学物質インベントリー

化学物質名	危険物	有機溶媒	表示物質	ISHL - 特定化学物質(クラス2)による危険有害性の防止	鉛中毒の予防
ジルコニウム	>1 %	該当しない	該当しない	-	-

**消防法:** \_\_\_\_\_

作成者	。
発行日	28-5-2015
改訂日	21-1-2026
改訂記録	更新されたSDS項目: 2, 14.

•

このSDSは、JIS Z 7250:2010およびJIS Z 7252:2009(日本)の要件に準拠している  
この化学物質等安全データシートに記載されている情報は、その発行日の時点において、我々の知識、情報および信念のおよぶ限りにおいて正確なものです。ここに提示されている情報は、安全取扱、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、および放出の指針とすることのみを目的としたものであり、保証または品質仕様と考えるべきものではありません。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連するものであり、本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と併用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります

追加情報の請求先: 安全データシートとラベルは、[ATImaterials.com](http://ATImaterials.com)から入手可能です